

岡山大学 Alumni（全学同窓会）設立総会議事要旨

日 時：平成25年10月19日（土）10時30分～11時20分

場 所：岡山大学創立50周年記念館 金光ホール

出席者数：約140人

開 会

岡山大学理事荒木勝（全学同窓会顧問）から、岡山大学 Alumni（全学同窓会）設立総会について、議長選出までの進行を務めることの説明に続き、設立総会の開会について宣言があった。

挨 拶

1 岡山大学 Alumni（全学同窓会）設立準備会 小長啓一議長

昨年の同窓会総会で岡山大学 Alumni（全学同窓会）設立趣意が認められ、岡山大学の知的営みに関わる全ての方々を構成員とする会を立ち上げるということで、1年間議論をしてまいりました。

その中で、一番問題でございましたのは、従来の各学部同窓会と全学同窓会とをどういう位置づけにするかということでした。色々議論したわけですが、結論的には、各学部の同窓会と全学同窓会は並列する、つまり上下関係ではなく並列であるということを確認いたしました。

また、この時期になぜ岡山大学 Alumni（全学同窓会）を立ち上げるのかについてですが、私が特に問題意識として感じ皆様にご理解をいただきたいのは、大学間競争が大変激しい中、旧帝大に伍して岡山大学が単なる地方大学ではなくて、相応の大学としての存在を保っていくためには、大学執行部だけの力だけではなく、既に10万人を超えていると言われておりますOBの力も結集いたしまして、大学の執行部とOBとそして在学生、そこまでを統合した形でもって組織化し、一つの力としてやっていくことが大変重要ではないかということであったわけでございます。その趣旨はこの新しい Alumni（全学同窓会）の中では活かされているのではないかと考えております。

それから、会費を具体的にどうするかということも問題でした。全学同窓会の会費としては、終身会費1万円をお願いをしようということで、10万人を数えます同窓生につきましては、その所在を十分確認できるまでにはなかなか至らない、相当時間もかかるであろうと予想されますが、これは各学部の同窓会のお力を借りながら、あるいは運動部等の同窓会のお力も借りながら、幅広く卒業生の消息をつかみ、終身会費1万円を徴収す

るということでございます。また、新入生、在學生、特に新入生については入学時に、学部の同窓会費に加えて全学の同窓会費もいただくことで具体的な手続きを進めていくこととなります。

それからもう一つ、重要なことは、岡山大学 Alumni（全学同窓会）は何をやるのかということであったわけでございます。これは、先ほど申しました大学間競争に勝ち抜いていくために、一番重要なことは、これだけ世の中が流動化し変化している中で、例えば、中央官庁、文科省であるとか経済産業省であるとか厚生労働省であるとか、色んな形で新政策を考えようとしているわけでございますが、そういう動きをいち早く察知して、それを参考にしながら大学の競争プロジェクトを具体的に立案していく。と言いますのも、大学の経費も毎年3%ずつ減っていくルールとなっておりますので、黙っていると大学の活動規模は縮小せざるをえないことでございます。それに対処していくためには、何としても競争的なプロジェクトを獲得することにより新しい予算を獲得し、学術研究活動を活性化していくことが重要でございます。その辺の情報収集機能が求められている大きな機能の一つではないかということでございます。

次に当然のことではございますが、在學生諸君の就職支援ももっと組織的に活発化していくことを考えようということでございます。例えば、国家公務員試験の合格率を見ましても岡山大学はかなりいい線をとっているわけでございますけれども、にも関わらず中央官庁に就職した者が見あたらないという状況でございます。大変もったいない感じがするわけでございます。もう少し支援していけば、せっかく合格した者が中央官庁に就職していけるということになっていくのではないかなと思います。そういう面での就職支援活動を積極的にやっていきたいということでございます。

重ねて強調したいことは、10万人を超える卒業生と在學生と教職員が一体となって、激しい大学間競争に立ち向かってゆくというのが岡山大学 Alumni（全学同窓会）の設立の趣旨であり、また行動計画であるということでございます。後ほど具体的なご審議をいただくわけでございますが、その方向で皆様の協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。

少し長くなりましたが、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

2 岡山大学 森田 潔 学長

本日は、岡山大学 Alumni（全学同窓会）を設立するに当たりまして、岡山大学を代表いたしまして一言感謝とお礼とご挨拶を申し上げたいと思ひます。

先ほど、小長会長より、Alumni（全学同窓会）設立の経緯についてはご説明いただきました。実は2年半前に私が岡山大学の学長を仰せつかった時に、岡山大学を国際的で美しい学都にしたい、世界に通用する大学にしたいという思いで森田ビジョンを発表させていただきました。そういった中で考えてみますと、私達岡山大学を支えてくれるサポーターと言いますか組織というものを作っていただきたいという思いを少し持っておりました。岡山大学は皆さんご存じのように、昭和24年に新制大学として設立されました。その時の第六高等学校の黒正巖先生が半田山の地を確保して岡山大学を作ったわけですけれども、その時の歌が先ほどの「我らは集まり半田山の山裾に」というあの歌の基であると聞いております。そういった趣旨の下で、第1期生が小長会長でもありました。私自身も岡山大学の卒業生の一人でありまして、岡山大学に対する熱い思いというものを共有していると思っております。

そういった中で、岡山大学には現在11学部、1コースがあります。各同窓会も持っており、皆様方はそれぞれ各同窓会の強い思いは持っておられますが、岡山大学としての卒業生、岡山大学としての絆を持って岡山大学を支えていく組織を作りたいという思いを小長会長に相談させていただきました。その後の小長会長に大変ご努力いただきまして、約2年かかりまして本日発足という日を迎えることができました。本当に心から感謝を申し上げたいと思います。

このAlumniの趣旨は先ほど小長会長からも言っていました。同窓生及び在校生、それから岡山大学を卒業しておられない方もたくさんいます。いわゆる教職員の方々、それからもう一つは留学生、留学生も現在4000人の方が世界各国で活躍されておられます。そういった留学生の方々も含めて、ぜひ岡山大学を支えていく力になっていただきたいという思いで本日発足を迎えることになりました。本当に心から感謝申し上げます。

私達岡山大学を運営している者にとりまして、皆様方の支えを力にして今後も頑張りたいと思いますので、何とぞ本日の設立をぜひお願いしたいと思います。我々も頑張っていきますので、今後も皆様のサポーターとしての力をお願いいたしまして私からの挨拶とさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。

議長選出

岡山大学荒木理事より、議長選出について適任者の推薦依頼があった。それに対し、会場から、小長岡山大学 Alumni（全学同窓会）設立準備会議長を

推す声があったことから、荒木理事より小長同会議長を議長とすることについて提案があり、承認された。

(以後、岡山大学 Alumni (全学同窓会) 設立準備会小長啓一議長が進行)

議 事

議事に先立ち、小長議長から、岡山大学 Alumni (全学同窓会) の設立には、事業計画など細部をさらに検討する必要がある事項もあるが、組織立ち上げの根幹となる事項について皆様にお諮りできる段階にこぎ着けたものと理解していること及び忌憚のない意見をいただき、議事進行に協力いただきたい旨挨拶があった。

1 岡山大学 Alumni (全学同窓会) 設立趣意書について

小長議長から、資料1「岡山大学 Alumni (全学同窓会) 設立趣意書」は、昨年同窓会総会において承認いただいた設立趣意について、本日の審議の前提となるものであることから、再度資料として提示させていただいたことの説明があり、続いて、小長議長の指名により荒木岡山大学理事から、同設立趣意書の要点について説明があった。

2 岡山大学 Alumni (全学同窓会) 会則について

小長議長の指名により、荒木岡山大学理事から、資料2「岡山大学 Alumni (全学同窓会) 会則 (案)」に基づき、岡山大学 Alumni (全学同窓会) の目的、会員、運営組織及び会費等各章ごとに詳細な説明があった。

続いて、小長議長から、本議題では、附則に掲げる役員名簿案については後の議題で審議することとし、名簿を除く条文についてのみ審議いただきたい旨説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3 岡山大学 Alumni (全学同窓会) の組織について

小長議長の指名により、荒木岡山大学理事から、資料3「岡山大学 Alumni (全学同窓会) 組織図 (案)・支部構成概念図 (案)」に基づき、岡山大学 Alumni (全学同窓会) 会則に基づく運営組織図案について、特に、理事会の構成、支部設置の方向性、事務局体制、支部組織のイメージ等について説明があった。

続いて、小長議長から、支部組織については、今後定款等の検討も踏まえ設置していく予定としており、当該支部設置に関わっていただく中心人物についても後ほど審議いただく役員に参画いただく予定としていること

の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

4 岡山大学 Alumni（全学同窓会）の事業計画について

小長議長の指名により、岡山大学荒木理事から、資料4「岡山大学 Alumni（全学同窓会）実施予定事業内容・予算（案）」に基づき、同会が今後取り組んでいく事業計画の詳細及び本年度については、会費収入が得られていないことから、岡山大学で計上している予算により、主として支部設置、広報活動及び会費徴収に係る手続きを中心に進めていく予定であることの説明があった。また、本設立総会終了後に予定されている岡山大学同窓会総会において、岡山大学同窓会の解散とそれに伴う解散時に同会が保有する財産の継承をお諮りする予定であり、当該議題が承認された場合を前提に、当該財産も岡山大学 Alumni（全学同窓会）事業予算として受け入れる前提であることの説明があった。

続いて、小長議長から、事業計画として、まずはホームページの充実により、会員に対する情報発信を強化していきたいこと及び本事業計画は、会費収入があつてのものであり、現時点では明確に事業計画を確定できるものではなく、基本方針であること、事業計画の詳細については、会費収入がある程度確定した後、理事会で審議していきたい旨説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

【会場からの意見】

（教員A 男性）

会員名簿は当面作成しないという説明があつたが、当面はないということか。各学部や学科同窓会では会費収入に対し名簿整理に係る部分かなりのウェイトを占めており、今後は Alumni（全学同窓会）で情報共有されるのであれば、どちらか一方が行って共有するという事も考えられる。今後の計画について教えていただきたい。

（荒木理事）

設立準備会でも検討課題として議論してきたが、個人情報保護の法令等の問題から、直ちに共有することには制約もある。Alumni（全学同窓会）と各学部同窓会との今後の検討課題と捉えており、引き続き検討していきたい。

（小長議長）

結論的には、当面は各学部同窓会の名簿を使わせていただく、将来は Alumni（全学同窓会）の方向でということになるが、予算の制約も考えると、いきなり Alumni（全学同窓会）というわけにもいかないのが実態

である。

(工学部卒業生 男性)

Alumni (全学同窓会) の会費について要望であるが、終身会費 1 万円を納めた者と納めていない者が差別されないよう、平等に取り扱っていただきたい。

(荒木理事)

設立準備会でも議論してきたことであるが、岡山大学の知的営みに関わる者を構成員とすることが基本的考えであり、会費を納めた者、納めていない者を差別することなくサービスを提供させていただく。

5 岡山大学 Alumni (全学同窓会) の役員等について

小長議長から、岡山大学 Alumni (全学同窓会) の役員については、本来、本会で会則が承認された後、新たに設置される理事会において総会に諮る役員案を審議した後、改めて総会を開催し審議いただくべきところではあるが、予め設立準備会で審議した役員案を持ってお諮りしたいことの説明に続き、資料 5 「岡山大学 Alumni (全学同窓会) 役員等名簿 (案)」に基づき岡山大学 Alumni (全学同窓会) 役員及び顧問について説明があった。また、岡山大学 Alumni (全学同窓会) では、今後、各地に設置される支部からも新たに支部役員若干人を理事として参画願い、現場の声も運営に反映させながら事業を進めていく予定としており、予め各地で活躍されている者若干人を加えさせていただいている旨説明があり、審議の結果、資料 2 で承認された会則に基づく役員案として原案どおり承認された。

続いて、承認された役員等について、名簿に基づき各理事及び顧問の紹介が行われた。

6 その他

特になし。

会長挨拶

本日、岡山大学 Alumni (全学同窓会) が皆様の賛同を得て、ここに設立されました。ご同慶の至りであります。これからは、先ほど承認いただきました理事会を中心に、各地への支部設置の具体的作業、さらには、来年度から実質的に展開される各種事業の具体化の検討など、これから本格的に動き出すこととなります。事業を安定的に実施し、岡山大学と岡山大学 Alumni (全学同窓会)、各学部同窓会が共に発展していくためには、まずは会費徴収という大きな問題があるわけでございます。また、同時に岡山大学 Alumni (全学

同窓会)の発足を契機に、積極的に広報活動をやっていく必要があると思います。ホームページの充実など積極的な広報活動に取り組んでいきたいと考えております。会員の皆さんの格別のご理解とご支援を賜りたいと存ずる次第であります。

私、東京において、色んな大学の同窓会関係者と話しをしておりますと、各大学とも現状の困難を打開していくためにはどうすればいいのかということに色々悩み苦しんでいます。我々も同じ悩みを持っているのですが、その中で一歩でも抜け出していくためには、同窓生、在校生、教職員が一体となった総力を結集して事に当たっていくことが何よりも必要ではないかと思えます。私も80を越した老骨ではございますが、最後のご奉公ということで、岡山大学 Alumni (全学同窓会)が軌道に乗るまでお力添えをさせていただきたいと思っているところでございます。何とぞ、ご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

閉 会

岡山大学荒木理事から、岡山大学 Alumni (全学同窓会) 設立総会の進行への協力に対し謝辞及び閉会宣言があった。